

平成26年度 学校評価実施報告書

3 2回目評価

学校名(西総合支援学校)

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価	
アンケート実施結果、その他指標の結果について整理						評価日	平成27年3月10日	評価日	平成27年2月26日
						評価者・組織	西総合支援学校	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評 価による意見	学校運営協議会・ 学校評議員による 改善に向けた支援 策
1	確かな学力	・個別の包括支援プランにもとづく教育実践 ・「わかる、できる」授業の実践 ・キャリアアップ教育の推進 ・指導力の向上	一昨年度より3年計画で、研究テーマを「子ども一人一人の将来の生活を見据えた教育・支援について ～個別の包括支援プランを根幹に据えた子どもの継続的なキャリアアップを目指して～」と設定し、教育課程委員会を中心に確かな学力の向上・授業改善に取り組んでいる。 今年度の研究成果については、研究紀要にまとめると共に、校内での事前研究報告会や研究発表会を実施し、全校での共通理解を図った。	・個別の包括支援プランの更新状況 ・教職員及び保護者アンケート ・ユニット会議、研修会実施状況 ・教職員及び保護者アンケート ・「情報バンク」の作成状況 ・教職員及び保護者アンケート ・参観日の保護者アンケート ・教職員及びアンケート	⇒	「できます会」を通して、子どもの課題が明確になり、より適切な支援・手だてが行われるようになり、これまで以上に、できる子どもの姿が見受けられるようになってきた。 「情報バンク」については、全校の児童生徒分のデータを入力することができた。	・今年度、9事例について、「できます会」によるケース会議を実施した。各学部より、「授業力向上につながるので継続してほしい」という意見があがっている。次年度以降、さらに参加できる教員を増やせるように工夫し、「できます会」を継続していく。 ・「情報バンク」については、全校の児童生徒のデータ入力を継続するとともに、具体的に活用を開始する。	⇒	毎年、一人一人の児童生徒の状況に応じた丁寧な取組がさらに推進されていると感じる。 「できる」からスタートするキャリアアップ教育の取組について、「できます」シートの実施や「情報バンク」の取組等、具体的に取組まれており、着実に成果を上げていると思う。
2	豊かな心	・挨拶の励行 ・対人関係、コミュニケーション指導の充実 ・性教育の推進 ・環境教育の推進	・生徒会を中心に、児童生徒の自発的な挨拶を促進する取組を推進 ・ケース会議の充実 ・言語聴覚士、心理士、情報教育専門家との相談 ・性教育の実施	・自発的な挨拶の状況 ・言語聴覚士、心理士、情報教育専門家の活用状況 ・性教育の実施状況	⇒	自分から挨拶できる児童生徒が増えつつある。 言語聴覚士や心理士・情報教育専門家の活用について、支援部を中心に定期的に実施し、充実してきている。 NPO芝生スクール京都のご協力により校庭が芝生化され、児童生徒の校庭での活動が多数実施されており、芝刈りやオーバーシードなどにおいては、高等部の生徒を中心に「働く」学習として取り組み始めている。 ・性教育に関する研修会を実施し、性教育検討委員会を3回開催して、「性と生に関する学習」に取り組んだ。	・挨拶の励行は、言語指導・コミュニケーション指導と平行して、言語聴覚士や心理士とも連携し、積極的に推進していく。 ・「できます会」において、言語聴覚士や心理士の意見や助言も取り入れる等、発達の視点や専門的な視点を踏まえて実践を進める。 ・来年度も、計画的に性教育検討委員会を開催し、「性と生に関する学習」に取り組む。	⇒	・学校へ訪問するたび、生徒さんが気持ちよく挨拶をしてくれる。 ・性教育に関しては、「西京区の障害のある子どもの進路保証をめざす会」が、本校において、本校養護教諭を講師として学習会を開催され、とても好評であった。

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価	
						評価日	平成27年3月10日	評価日	平成27年2月26日
						評価者・組織	西総合支援学校	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
	分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・ 各種指標	アンケート結果・ 各種指標結果	分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評 価による意見	学校運営協議会・ 学校評議員による 改善に向けた支援 策
3	健やかな体	・健康管理の徹底	・医療的ケア検討委員会の実施	・医療的ケアの実施状況	・医療的ケア検討委員会を随時、開催し、学校医や主治医の意見を参考にしながら、児童生徒の健康・安全管理に努めた。 ・訓練等実施状況 避難訓練 2回／年、緊急時シミュレーション 3回／年 防犯研修 1回／年、交通安全教室 1回／年(インフルエンザ罹患患者多数のため中止) ・避難訓練、緊急時対応訓練の実施状況	健康観察や体力向上を図る取組などについては、確実に実施し、情報共有を図れるようになってきている。 高等部のスポーツ部の取組や各スポーツ大会への参加状況も良好であり、活発な活動ができている。 災害時や緊急時の対応については、基本的な対応について共通理解が図れるようになってきている。また、緊急時引渡しカードを保護者に記入・提出していただいた。	基本的な生活習慣の確立については、生徒指導とも連携し、保護者理解を得ながら取り組んでいく。 児童生徒の運動時間の確保、健康の維持増進に引き続き取り組む。 緊急時対応マニュアルを作成し教職員の共通理解を図っているが、今後、週休日の災害時における安否確認や引き渡し訓練等、具体的な場面を想定した訓練を実施する。		地域としても避難訓練を実施したり、物品を備蓄するなど、災害時に備えた対応に取り組んでいる。学校とも連携しながら取組を進めたい。
		・体力の向上	・部活動 ・スポーツ大会への参加	・部活動の充実状況 ・スポーツ大会への参加状況					
		・自立活動の充実	・身体の学習	・身体の学習の実施状況					
		・防災、安全教育の推進	・避難訓練 ・緊急時シミュレーション ・防犯研修 ・交通安全教室(インフルエンザ罹患患者多数のため中止)						
4	独自の取組	・家庭との連携の促進	・学校運営協議会を年間4回開催し、保護者・地域・関係機関等の協力を得ながら、学校運営協議会主催事業として、「校区地域交流会」、「芝生まつり」等、様々な取組を実践している。	・学校運営協議会実施状況	・学校運営協議会 4回 ・学校運営協議会主催事業として、下記の取組を実施している。 ・わくわくクラブ ・にこにこクラブ ・校区地域交流会 ・サマースクール ・芝生まつり ・西京区交流卓球大会(後援) ・福祉施設等との連携状況 ・連絡帳記載事項や参観日の保護者アンケート	学校運営協議会にて提案された「西の風」、「校区地域交流会」の開催や主催事業等、家庭・学校・地域の双方向の援助による取組が具体的にすすんでおり、年々、充実してきている。 校区地域交流会においては、育成学級の保護者や児童生徒も参加されるようになった。 学校運営協議会においては、「熟議と協同」の時間を設け、相談を深める機会を設定した。	引き続き、学校としてのビジョンを明確に示し、ホームページや桂坂自治連合会の配布物などを通して情報を発信し、学校運営協議会からの助言も得ながら取組を推進していく。		各種団体では積極的に支援学校に協力してくださる方が増えてきている。一方で、地域の一般の方には十分伝わっていない部分がある。さらなる学校からの情報発信をさらに積極的にしていくことや地域の方が参加しやすい取組をいっそう推進していく。
		・家庭、学校、地域の双方向の援助による教育の推進	・学校運営協議会主催事業として、「校区地域交流会」、「芝生まつり」等、様々な取組を実践している。	・学校運営協議会主催事業の実施状況					
		・学校施設等の開放	・学校施設の開放については、障害のある方の加盟されている団体を対象に、グラウンド・体育館・生活学習室を開放している。	・福祉施設等との連携状況					
		・学校運営協議会の充実							

4 総括・次年度の課題

- 「できますシート」や「情報バンク」の活用を組織的・計画的に推進する。
- 「学校教育目標＝継続的なキャリアアップ支援」という全校理解を図り、全校体制で教育課程楕図に示された学校づくりに取り組む。
- 専門性を向上するための研修を充実させる。
- 災害時の対応についての共通理解の徹底と避難訓練のさらなる充実をはかる。
- 地域制の総合支援学校のこれまで10年間の総括と今後の10年間の方向性の確認を行う。